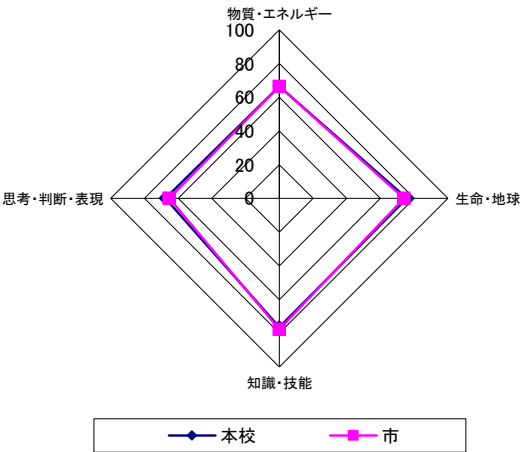


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.5	66.5	66.3
	生命・地球	75.6	74.0	72.6
観点別	知識・技能	76.4	77.6	78.2
	思考・判断・表現	67.6	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は市の平均とほぼ同じである。 ○基礎や活用を問われている問題では、市とほぼ同程度の正答率であった。 ●実験の操作や器具の使い方に関する問題で正答率が低い傾向にあった。	・観察や実験、器具の使用の機会を増やし、実感を伴った理解が深まるよう指導する。 ・見通しをもって実験を行い、意図を明確にして取り組めるようにする。また、結果と考察をしっかりと結び付けて考えられるよう指導する。 ・結果を表やグラフでまとめ、そこから読み取る機会を確保し、事実から考えられるようにする。
生命・地球	平均正答率は市の平均を1.6ポイント上回っている。 ○植物のからだのつくりやはたらき、月と太陽の内容については正答率が高かった。 ●動物のからだのつくりとはたらきでは、自分の言葉で現象や理由を説明する問題の正答率が低い。	・調べたいことを明確にし、変える条件と変えない条件を確認したうえで実験に取り組むよう指導する。 ・児童が予想を立てる時間を十分に確保し、予想から結果の見通しを立てたうえで実験が行えるよう授業展開を工夫する。 ・自分の言葉で現象や理由を説明できるよう、考察の時間を十分に取ながら指導する。